

科目名	技術者倫理 Engineering Ethics			担当教員	内田由理子, 細谷 守		
学年	1年	学期	前期	履修条件	必修	単位数	2
分野	工学基礎	授業形式	講義	科目番号	11272001	単位区別	学修
学習目標	技術者として身につけるべき倫理規定, 法, 規約等を理解し, 専門職の役割には責任や義務の伴うこと, その影響が自然や社会に及ぶことを, 実際に生じた事例を通して学習し, 技術の使命が人々の生活の向上や社会的貢献にあり, 環境への配慮や世代間倫理の確認を通して, 技術者としての倫理的責任を自覚し, 考える習慣を身につける。						
進め方	教科書, 資料によって主に講義形式で授業を進めるが, 工学倫理について理解を深めるために, 討議を行い, レポート提出も課す。事例研究では, 各自が事例を調査, 分析し, 発表する。また応用倫理として, 生命, 環境, ビジネス, 情報についての倫理の理解を進める。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. 技術者倫理とは(2)			技術者倫理教育について学ぶ。 A1:1-4			
	2. 工学の倫理概念(2)			倫理概念, 工学の倫理概念等について学ぶ。 A1:1-4			
	3. 倫理綱領(2)			倫理綱領から技術者が社会に対して負う責任を学ぶ。 A1:1-4			
	4. ビジネス倫理(2)			企業の社会的責任について学ぶ。 A2:1-2			
	5. 事故調査(7)			事例を通して何が問題であるかを学ぶ。 A3:1-4			
	6. 施工・工程管理, 維持管理(4)			技術者の公正中立の責任について学ぶ。 A2:1-2			
	7. 企業秘密(2)			転職のモラル及び守秘義務と公衆の福利について, 技術者に求められるべきこと学ぶ。 A3:3			
	8. 専門的知識の研鑽(3)			安全とリスクに関して技術者が心がけることを学ぶ。 A3:2			
	9. 製造物責任(2)			製造物責任について, 設計上, 製造上, 指示・警告上の欠陥を防ぐことについて学ぶ。 A2:1-4			
10. 安全性と設計(3)			安全性を確保のために, 設計の段階において配慮すべきことについて学ぶ。 A2:1-4				
11. 内部告発(2)			技術者の組織・雇用者への忠誠と不服従・内部告発について学ぶ。 A2:1-4				
12. 社会制度を視野に入れた技術者のあり方(2)			社会制度とモラルに関して学ぶ。 A1:3-4				
前期末試験							
13. 答案返却・解答(1)							
評価方法	期末試験 70%, レポート等 30%の比率で総合評価する。						
履修要件	特になし。						
関連科目	倫理社会 (本科2年) →政治経済 (本科3年) →哲学 (本科4年) →法学 (本科5年)						
教材	教科書 : 齊藤 了文 著「はじめての工学倫理」昭和堂						
備考	特になし。						